

2025年3月27日

《入試制度についてのお知らせ》
女子枠の新設と出題教科・調査書比重の変更について
—2027年度入学者選抜から実施—

大阪公立大学工業専門学校長

【1】入試制度変更方針

昨今の社会情勢や労働環境の変化、男女共同参画社会へ向けた取り組みの進展などにより、女性が活躍できる工学分野の幅が広がっています。このような状況より、各専門分野でバランスよく「工学系女性エンジニア」を育成し、社会的要請に答えていくことが強く求められています。そこで本校では、女子学生が工学分野の知識と技術を修得できる機会を増やすため、一定の学力をもつ中学生が応募する『学校長推薦選抜』（現行は「小論文と面接による選抜枠」のみ）において、その募集人員を20名増員し100名とし、新たに「女性エンジニア養成枠」を設け、中学校入学後の早期から工学系の学習に興味を持つ優秀な女子生徒の選抜枠を導入することになりました。

また、『学力検査選抜』では、理工系分野に特化した興味を持つ生徒が、より受験しやすくなるように、出題する教科を5教科(理科・英語・数学・国語・社会)から4教科(理科・英語・数学・国語)にすることに加え、調査書成績の比重を見直します(約40%から31%に軽減)。なお、『学力検査選抜』の募集人員は、『学校長推薦選抜』の募集人員の増員に伴い、80名から60名に変更します。

新たな制度による入学者選抜は、2027年4月に予定されている本校の大阪公立大学中百舌鳥キャンパスへの移転と合わせ、2027年度入学者選抜より実施します。

【2】入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

養成する人材像に示す技術者を育成するため、「1. 求める人材像」に示す適性と能力を持った人を受け入れます。そのため、「2. 入学者選抜の基本方針」に示す選抜方法により適性と能力を確認します。

1. 求める人材像

(1)興味・関心

- ・ものづくりに興味・関心のある人
- ・情報通信・地球環境・エネルギー問題に興味・関心のある人

(2)資質・性格

- ・何事にも積極的に取り組めるチャレンジ精神の旺盛な人
- ・多様な価値観を理解して行動できる人

(3)能力

- ・数学・理科・英語・技術が得意な人

2. 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は、『学校長推薦選抜』と『学力検査選抜』の2種類の方法で行います。『学校長推薦選抜』

には「小論文と面接による選抜枠」と「女性エンジニア養成枠」があります。

学校長推薦選抜

● 「小論文と面接による選抜枠」

- ① 中学校での基礎学力が備わっていること
- ② 技術や科学に興味・関心があること
- ③ 何事にも積極的に取り組めること
- ④ 多様な価値観を理解できること

を調査書、推薦書、自己申告書、小論文、面接の総合評価によって選抜します。

● 「女性エンジニア養成枠」

- ① 中学校での基礎学力が備わっていること
- ② 技術や科学に興味・関心があること
- ③ 何事にも積極的に取り組めること
- ④ 多様な価値観を理解できること

を調査書、推薦書、自己申告書、面接の総合評価によって選抜します。

学力検査選抜

- ① 中学校での基礎学力が備わっていること
- ② 数学・理科・英語が得意なこと
- ③ 技術や科学に興味・関心があること

を学力検査、調査書、自己申告書の総合評価によって選抜します。

【3】学校長推薦選抜

学校長推薦選抜には、「小論文と面接による選抜枠」と「女性エンジニア養成枠」があり、出願資格が異なります。なお、「小論文と面接による選抜枠」と「女性エンジニア養成枠」を重複して出願することはできません。

1. 募集人員

総合工学システム学科 100名※

※「小論文と面接による選抜枠」と「女性エンジニア養成枠」を合計した人数

2. 出願資格

(1) 小論文と面接による選抜枠

下記の1)～6)のすべてに該当する者としてします。

- 1) 検査が実施される年度の3月に中学校もしくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を卒業又は修了見込みの者
- 2) 在籍する中学校長が推薦する者
- 3) 調査書の学習の記録欄(5段階評価)において、第3学年の全教科の評定合計が36以上の者
- 4) 調査書の学習の記録欄(5段階評価)において、第3学年の数学、理科、英語、技術・家庭の4教科の評定合計が18以上、かつ、数学の評定が4以上の者
- 5) 本校入学の意志が確実で、本校の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿う、本校の学生に

ふさわしい能力・特性を有する者

- 6)本人及び保護者(本人に対して親権を行う者であって、原則として父又は母。親権を行う者がいない場合は後見人。以下同じ。)の住所が大阪府内にある者、又は転居等により、検査が実施される年度の3月31日までに本人及び保護者の住所(注:住所とは住民登録されている居所のことです)が大阪府内となる者

(2)女性エンジニア養成枠

下記の1)~6)のすべてに該当し、戸籍上の性別が「女性」であることを出願資格とします。

- 1)検査が実施される年度の3月に中学校もしくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を卒業又は修了見込みの者
- 2)在籍する中学校長が推薦する者
- 3)調査書の学習の記録欄(5段階評価)において、第2学年および第3学年の全教科の評定合計がそれぞれ36以上の者
- 4)調査書の学習の記録欄(5段階評価)において、第3学年の数学、理科、英語、技術・家庭の4教科の評定合計が18以上、かつ、数学の評定が5の者
- 5)本校入学の意志が確実で、本校の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿う、本校の学生にふさわしい能力・特性を有しており、社会で活躍できる女性エンジニアを目指している者
- 6)本人及び保護者(本人に対して親権を行う者であって、原則として父又は母。親権を行う者がいない場合は後見人。以下同じ。)の住所が大阪府内にある者、又は転居等により、検査が実施される年度の3月31日までに本人及び保護者の住所(注:住所とは住民登録されている居所のことです)が大阪府内となる者

3. 選抜方法

(1)「小論文と面接による選抜枠」

「小論文と面接による選抜枠」における入学者の選抜は、自己申告書、調査書、小論文、面接(グループ面接)を総合して行います。調査書成績(130点満点。ただし、第3学年、第2学年及び第1学年の評定を3:1:1の比率で評価する。)、小論文成績(80点満点)、面接成績(30点満点)の合計を総合成績(240点満点)とし、小論文成績27点以上かつ面接成績10点以上の者を対象として、合格の可否を判定します。合格者数は「女性エンジニア養成枠」と合わせた募集人員とします。

なお、『学校長推薦選抜』の合格者数が募集人員を下回る場合は、『学力検査による選抜』において総募集人員を満たすよう合格者を決定します。

(2)「女性エンジニア養成枠」

「女性エンジニア養成枠」における入学者の選抜は、自己申告書、調査書、面接(個人面接)を総合して行います。調査書成績(130点満点。ただし、第3学年、第2学年及び第1学年の評定を3:1:1の比率で評価する。)、面接成績(120点満点)の合計を総合成績(250点満点)とし、合格の可否を判定します。合格者数は「小論文と面接による選抜枠」と合わせた募集人員とします。

なお、『学校長推薦選抜』の合格者数が募集人員を下回る場合は、『学力検査による選抜』において総募集人員を満たすよう合格者を決定します。

4. その他

学校長推薦選抜で合格となった者は必ず本校へ入学しなければなりません。大阪府公立高等学校入学者選抜等に出願することはできません。

合格とならなかった者のうち、学校長推薦選抜の出願時に「学力検査選抜受験希望あり」として出願した者は、「学力検査選抜」を受けることができます。この場合、新たな手続き(書類の再提出、入学検定料の再納付等)は一切必要ありません。

【4】学力検査選抜

1. 募集人員

総合工学システム学科 60 名

2. 出願資格

1) 検査が実施される年度の3月に中学校もしくはこれに準ずる学校、義務教育学校又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校」という。)を卒業又は修了見込みの者

2) 中学校を卒業又は修了した者

3) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者(学校教育法施行規則第 95 条に該当する者のいずれかであって、次の①と②の両方、あるいは①と③の両方に該当する者として)

① 本校入学の意志が確実で、本校の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿う者

② 本人及び保護者(本人に対して親権を行う者であって、原則として父又は母。親権を行う者がいない場合は後見人。以下同じ。)の住所が大阪府内にある者、または転居等により、検査が実施される年度の3月31日までに本人及び保護者の住所(注:住所とは住民登録されている居所のことです)が大阪府内となる者

③ 出願時において本人及び保護者の住所が大阪府外にあり、かつ検査が実施された年度の4月1日以降も引き続き大阪府外の住居から通学を希望する者(府外枠受験、ただし、府外枠受験の合格者数の上限は16名)

3. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、調査書、自己申告書の総合評価により行います。学力検査は、理科、英語、数学、国語の4教科です。学力検査成績(550点満点)、調査書成績(250点満点、ただし、第3学年、第2学年及び第1学年の評定を3:1:1の比率で評価する。)の合計を総合成績(800点満点)とし、自己申告書により本校の入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)に沿う者と判断された者を対象に、選考をおこないます。

学力検査および調査書の配点

学力検査(550点満点)	理科(150点)・数学(150点)・英語(150点)・国語(100点)
調査書(250点満点)	社会(50点), 社会以外の8教科(各25点)

総合成績の高い者から、募集人員の120%に達する者までを合格者候補とします。合格者候補の中で、総合成績の高い者から募集人員の80%に達する者までを合格とし、残りの者をボーダーゾーンとします。ボーダーゾーンの中で、学力検査の成績の高い者から募集人員を満たすよう合格者を決定します。ただし、

府外枠受験の合格者数の上限は 16 名です。また、「学校長推薦選抜」の合格者数が募集人員を下回った場合は、本選抜において総募集人員を満たすよう合格者を決定します。

4. その他

合格となった者は必ず本校へ入学しなければなりません。大阪府公立高等学校一般入学者選抜等の検査を受験することはできません。

以上